# 令和元年度（三浦初声高等学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○項目・目標別実施結果

| 項　目 | | 目　標 | 実施結果と目標の達成状況 |
|---|---|---|---|
| 1 | 法令遵守意識の向上・公務外非行の防止 | 教職員としての職責と社会人の規範となる心構えを持ち、公務外非行の未然防止を図る。 | 県民対応、不祥事防止3か条を配布し、職員の意識の啓発を図った。また事故防止会議において旅費の執行（１月実施）を取り上げ、適正な旅費の執行についての意識の徹底を図った。 |
| 2 | わいせつ・セクハラ行為及びパワーハラスメントの防止 | 生徒との接し方に注意し、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。また、職員間のセクハラ行為やパワーハラスメントの未然防止を図る。 | セクハラ防止等の事故防止会議を5月と7月に実施し、常に自らの言動が、他者からセクハラと受け取られないよう注意する意識の啓発を図り、セクハラ行為等を未然に防止することができた。また、生徒との接し方においても注意喚起を行った。 |
| 3 | 体罰、不適切な指導の防止 | 生徒の人権を尊重し真摯な態度で指導にあたり、体罰・不適切指導を根絶する。 | 日頃より生徒指導、部活動等で体罰・不適切な指導がないよう確認した。7月8月の事故防止会議において体罰防止を取り上げ、体罰はいかなる理由があろうとも許されないという意識の徹底を図った。 |
| 4 | 入学者選抜、成績処理及び学進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 | 入学者選抜業務、成績処理及び進路関係書類等の作成・発行を適正に行い、事故を未然に防止する。 | 成績処理・進路指導におけるミス・不祥事の実態、その防止方法について事故防止会議（7月）で啓発資料を配付し、職員の意識啓発を図った。教科一斉点検、学務点検を日頃より実施し、マニュアルを全職員で確認することで、成績処理についてのミスを未然に防ぐことができた。 調査書発行マニュアルに基づき、複数の職員で慎重に点検・確認を行い、ミスなく進路関係書類を発行することができた。1月には入学者選抜の事故防止について徹底し、適正に選抜業務を実施することができた。 |
| 5 | 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 | 個人情報保護条例に基づき、組織としての情報管理体制を構築し、個人情報の適正管理と流出の未然防止を徹底する。 | 教務手帳の適切な管理（6月）、個人情報の管理、情報セキュリティ対策、試験答案等の扱い（7月）生徒の電子メールアドレス等の収集についての事故防止会議を行い、生徒とメールやライン等でのやり取りの禁止をあらためて徹底することができた。<br>また、今年度は個人情報の保護管理の観点から講師を招いて研修を行い、改めて職員の個人情報保護の意識の徹底を図った。 |
| 6 | 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守 | 交通事故の発生を未然に防止し、酒気帯び運転や飲酒運転を根絶する。 | 資料をもとに事故防止会議（12月）を行い、教育公務員として県民から信頼される行動を取るよう徹底を図った。 |
| 7 | 会計事務等の適正執行 | 県の会計基準に沿って、公費・私費・部活動費等の迅速かつ適正な管理及び執行を行う。 | 4月に諸会費の振替誤りの防止と私費会計のポイントについて、資料をもとに事故防止会議を行うとともに、徴収・執行のルールの確認を行い、私費会計の適正な処理の徹底を図った。また、4月、10月の私費会計監査を厳正に実施するとともに、業者選定委員会を適正に実施した。 |

○　令和元年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び令和２年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

・令和元年度不祥事ゼロプログラムの達成状況

不祥事ゼロプログラムに基づいた年間計画に従って実施することが出来た。今年度は特に個人情報の管理について見直しを行い、講師による研修会や毎月の事故防止会議を、効果的に実施した。また、事故・不祥事事案が他校で発生したときには、朝の打ち合わせ等で、具体的な事例として職員に提示し、事故・不祥事防止意識の向上を図った。さらに、必要に応じて個別の面接を通して、職員一人ひとりの事故・不祥事防止についての意識を高めることができたと考える。

・令和２年度に取り組むべき課題

生徒への体罰・不適正な指導の防止、入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止、個人情報等の管理・情報セキュリティ対策、会計事務等の適正執行を重点課題として取り組む。事故・不祥事に係る新聞等の資料を掲示し、意識啓発を適切に行うとともに、月１回開催される職員会議の冒頭に事故防止会議を開催し、啓発資料によるチェック表を回収するなどして、職員の事故防止に対する意識を高め、継続させる取組みを行う。また、日頃より振り返りを行うことによって、個人の行動を律する機会を設けたい。